

## 注入補修用・充填接着用硬質形 低粘度形エポキシ樹脂

# エバーボンド® EP-400

エバーボンド® EP-400 は、ひび割れ幅が最大 0.2mm 以下の注入を可能にした超低粘度形エポキシ樹脂です。グラウトプラグ A 工法において、ひび割れ幅が最大 0.2mm 以下の場合はエバーボンド EP-400 を先行注入しグラウトプラグ A の圧力タンク内のエポキシ樹脂がなくなれば低粘度形エポキシ樹脂を追加注入します。更に圧力タンク内のエポキシ樹脂がなくなれば、中粘度形エポキシ樹脂を追加注入する事でひび割れに応じた樹脂を確実に注入することができます。

※ この施工方法については『建築改修工事監理指針』国土交通省大臣官房官庁営繕部監修平成 25 年版上巻』の P391 ~ 392 に掲載されています。

建築構造物



土木構造物



### エバーボンド® EP-400 の特長

- 微細なひび割れに、グラウトプラグ A(自動式低圧注入工法)を組み合わせる事により注入が可能になります。
- 微細クラックの先導注入材。
- 粘度が低い為、コンクリートへの浸透性が良い。

### エバーボンド® EP-400 の用途

- コンクリート構造物の微細なひび割れや隙間への注入・充填接着

## 性状

季別	エバーボンド® EP-400M (一般用)		エバーボンド® EP-400W (冬用)	
項目	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	脂肪族ポリアミン	エポキシ樹脂	脂肪族ポリアミン
外観	淡黄色透明液体	淡褐色透明液体	淡黄色透明液体	淡褐色透明液体
混合比	主剤:硬化剤=3:1 (重量比)		主剤:硬化剤=3:1 (重量比)	
可使時間	88分 (23±2°C: 200g)		52分 (23±2°C: 200g)	
混合粘度	100~500mPa·s		100~500mPa·s	
混合比重	1.10±0.10g/cm³		1.10±0.10g/cm³	

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。※可使時間については、材料や使用条件等により、本資料と異なる結果を生ずることがあります。

## 物性データ《建築補修及び建築補強用工ポキシ樹脂》JIS A 6024:2015 注入エポキシ樹脂(硬質)の品質に基づく試験

JIS A 6024:2015		エバーボンド® EP-400M (一般用)		エバーボンド® EP-400W (冬用)	
試験項目		試験条件	試験結果	JIS A 6024 規格値	試験結果
粘度 (mPa·s)		標準条件 A 23±2°C	130	100~1000	145
		標準条件 B 23±2°C	7.6	6.0以上	9.0
接着強さ (MPa) A 法		低温条件 B 5±1°C	—	—	9.7
		湿潤条件	7.5	3.0以上	6.5
		乾湿繰返し条件	6.6	3.0以上	6.3
引張特性 A 法	引張強さ (MPa)	標準条件 B 23±2°C	47.9	15.0以上	40
	破断時伸び (%)	標準条件 B 23±2°C	2	10以下	2
硬化収縮率 (%)		標準条件 B 23±2°C	2	3以下	2
加熱減量 A 法	質量変化率 (%)	高温条件 B 110±3°C	1	5以下	1
	体積変化率 (%)	高温条件 B 110±3°C	1	5以下	1

上記の試験測定値は、(財)建材試験センターによる試験結果です。

## エバーボンド EP-400 硬化物性 (社内規格値)

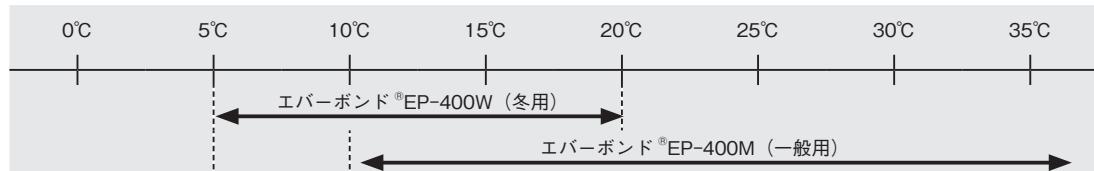
試験項目	試験方法	単位	エバーボンド® EP-400 M·W	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.10±0.10	1.10±0.10
圧縮降伏強度	JIS K 7208	N/mm²	60.0以上	60.0以上
引張強度	JIS K 7113	N/mm²	30.0以上	30.0以上
曲げ強度	JIS K 7203	N/mm²	50.0以上	50.0以上
引張剪断強度	JIS K 6850	N/mm²	10.0以上	10.0以上
衝撃強度	JIS K 7111	KJ/m²	3.0以上	3.0以上
圧縮弾性係数	JIS K 7208	N/mm²	1.0×10³以上	1.0×10³以上
硬度	JIS K 7215	HDD	80.0以上	80.0以上



## 包装容量

4kgセット (主剤:3kg、硬化剤:1kg) × 2 セット / ケース	低粘度形 (I-L-R) 一般用
	低粘度形 (I-L-W) 冬用

## 材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものではありません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従つて受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

## 株式会社ダイフレックス

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号  
TEL. 03-6864-0751 FAX. 03-6864-0752